

## 6月度 訪日外国人旅行者の動向（関西\*）

○2018年6月の外国人入国者数は66万2,420人で16カ月連続の前年比増加。15カ月連続で2桁増と好調が続く。国籍別では、5月は韓国からの訪日客2カ月ぶりに最多となった。

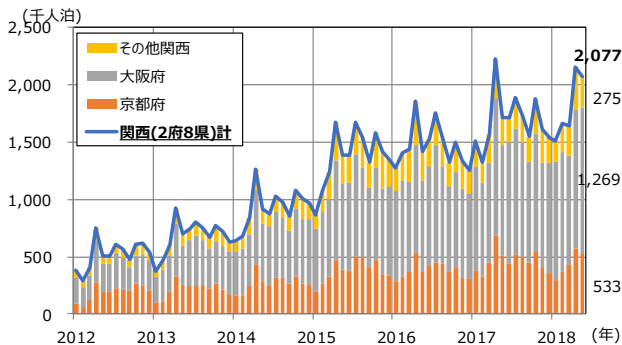
○6月の関西地区の百貨店免税売上高は102.6億円で前月から減速したものの20カ月連続の前年比増加。単価は6万1,160円で14カ月連続の同増加。大阪北部地震の消費への直接的な影響は軽微であるものの、幾分下押しの傾向があり、今後注視すべきである。

### (1) 外国人延べ宿泊者数の推移

2018年5月の関西の外国人延べ宿泊者数は207.7万人泊であった。伸びは+21.1%と2カ月ぶりに増加に転じた。

府県別にみると、大阪府で126.9万人泊(同+31.9%、15カ月連続)、京都府で53.3万人泊(同+4.3%、3カ月ぶり)、その他関西で27.5万人泊(同+13.9%、4カ月連続)であった。

外国人延べ宿泊者数(2018年5月まで)



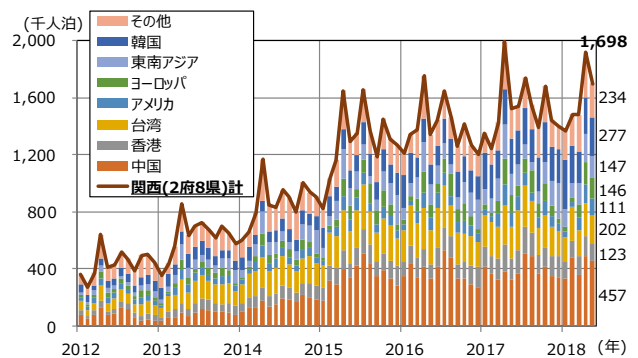
(注) 2017-18年の値は速報値  
(出所) 観光庁「宿泊旅行統計調査」

### (2) 国籍別外国人延べ宿泊者数

5月の関西の外国人延べ宿泊者数を国籍別にみると、最も多かったのは中国で45.7万人泊(前年同月比+40.6%、4カ月連続)であった。次に韓国で27.7万人泊(同+12.5%、2014年8月以来46カ月連続)、台湾が20.2万人泊(同-11.7%、7カ月連続)、香港が12.3万人泊(同-15.7%、3カ月連続)、アメリカは11.1万人泊(同+14.2%、5カ月ぶり)であった。また、東南アジア全体では、14.7万人泊(同-2.8%、4カ月連続)、ヨーロッパ全体では14.6万人泊(同+25.5%、2カ月ぶり)であった。

\*本レポートでは、特に断らない限り、関西とは、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、福井県及び三重県の2府8県としている。

国・地域別外国人延べ宿泊者数の推移(2018年5月まで)



(注) ヨーロッパはイギリス、ドイツ、フランス、ロシア、イタリア、スペインの合計。東南アジアはシンガポール、タイ、マレーシア、インドネシア、ベトナム、フィリピンの合計。従業員数10人以上の施設。  
(出所) 観光庁「宿泊旅行統計調査」(下図も同様)

国籍別外国人延べ宿泊者数(2018年5月)

(単位:人泊, %)					
順位	国名	宿泊者数	構成比	全国シェア	前年比
1	中国	457,200	26.9	28.8	40.6
2	韓国	277,430	16.3	29.3	12.5
3	台湾	201,980	11.9	19.8	-11.7
4	香港	122,820	7.2	26.4	-15.7
5	アメリカ	111,360	6.6	22.4	14.2
6	フランス	49,440	2.9	34.7	40.0
7	オーストラリア	49,210	2.9	30.7	16.8
8	タイ	48,650	2.9	18.3	-6.5
9	シンガポール	33,070	1.9	21.3	9.2
10	イギリス	30,860	1.8	25.5	12.6

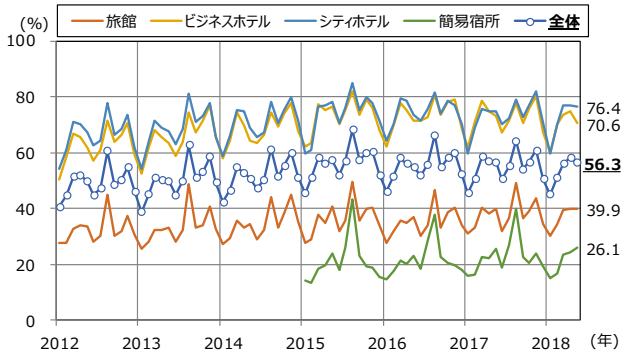
(注) 速報値。従業員数10人以上の施設。  
各項目の計算方法については下記の通り。  
構成比 = 当該国の宿泊者数 ÷ 関西の合計宿泊者数  
全国シェア = 関西で宿泊した国籍別外国人宿泊者数 ÷ 全国の国籍別外国人宿泊者数  
前年比 = (当月の国籍別宿泊者数 ÷ 前年の国籍別宿泊者数 - 1) × 100

### (3) 宿泊施設タイプ別客室稼働率

5月の関西の客室稼働率は全体で56.3%となり、前年同月と比べて-0.3%ポイント低下し、2カ月ぶりに悪化した。タイプ別にみると、最も稼働率が高かったのはシティホテルで76.4%、次にビジネスホテルで70.6%、旅館は

39.9%、簡易宿所は26.1%であった。

宿泊施設タイプ別客室稼働率の推移(2018年5月まで)



(出所) 観光庁「宿泊旅行統計調査」(下図も同様)

府県別宿泊施設タイプ別客室稼働率(2018年5月)

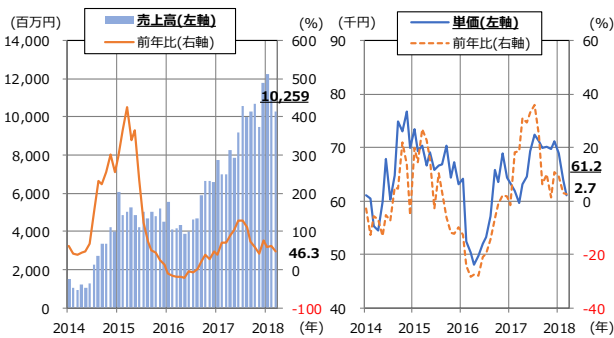
(単位: %)

	関西	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	徳島	福井	三重
全体	56.3	54.1	68.0	78.5	54.4	51.1	48.6	58.2	55.7	46.0	48.6
旅館	39.9	38.7	43.1	45.7	39.9	41.0	44.7	36.7	39.2	30.5	39.9
リゾートホテル	56.9	57.4	56.9	87.2	58.2	86.3	54.1	26.9	39.5	55.1	47.2
ビジネスホテル	70.6	64.8	86.8	77.4	67.8	68.5	58.8	67.8	71.8	77.1	64.9
シティホテル	76.4	81.2	87.9	86.7	78.4	79.7	71.5	82.4	60.1	64.6	71.5
簡易宿所	26.1	33.8	26.8	60.7	11.5	16.4	24.1	28.3	31.7	21.8	6.3
会社・団体の宿泊所	25.5	13.5	47.4	55.4	30.2	30.6	33.3	7.4	17.7	4.8	14.3

#### (4) 百貨店免税売上の推移

6月の関西地域の百貨店免税売上高は102.6億円と4カ月連続で100億円を超え、高水準が続いている。伸びも前年同月比+46.3%と前月(同+61.5%)よりも減速したものの、20カ月連続で増加している。件数も16万7,740件(同+42.5%)と高い伸びとなった。単価は6万1,160円で伸びは同+2.7%と14カ月連続で増加が続いている。6月18日に発生した大阪北部地震により、幾分下押しされたものの、インバウンド消費に与える影響は軽微であったとみられる。

百貨店免税売上高と単価の推移(2018年6月まで)



(注) インバウンド需要の観点から主要とみられる大阪、京都、神戸の百貨店各店舗における外国人旅行者などの非居住者による消費税免税物品の購入額および件数(免税申請ベース)。

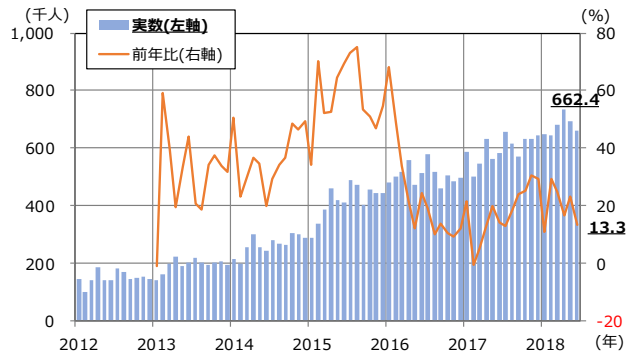
(出所) 日本銀行大阪支店「関西地区百貨店免税売上」

#### (5) 関西国際空港の利用状況

##### ① 関西国際空港における入国者数

2018年6月に関西国際空港(以下「関空」という。)を利用して入国した外国人の数は66万2,420人となり、依然として高水準である。伸びも前年同月比+13.3%と前月(同+23.0%)と比べて減速したものの、16カ月連続で増加が続く。加えて、15カ月連続で2桁増と好調である。大阪北部地震により、訪日外客数はある程度減少したと考えられるが、影響はそれほど見られない。

外国人入国者数と伸び率の推移(2018年6月まで)



(出所) 一般社団法人関西空港調査会「KANSAI空港レビュー」

##### ② 国籍別の関空訪日外客数

関空訪日外客数を国籍別・地域別にみると、5月は韓国からの入国者数が20万2,777人(前年同月比+23.7%)となり、2カ月ぶりに中国を抜き最多となった。次いで、中国(香港除く)が19万4,250人(同+55.2%)、台湾が9万9,032人(同+0.2%)、香港が5万7,412人(同+3.6%)であった。

他のアジア各国は、タイが2万2,655人(前年同月比+1.0%)、フィリピンが1万4,693人(同+13.1%)、マレーシアが1万2,709人(同+6.5%)、ベトナムが6,956人(同+67.0%)、インドネシアが5,604人(同-4.6%)であった。

国籍別訪日外客数(2017年6月~2018年5月)

(単位: 千人)

年	月	全体	韓国	台湾	香港	中国	タイ	マレーシア	インドネシア	フィリピン	ベトナム	英国	ドイツ	フランス	スペイン	米国	豪州
2017	6	585	172	109	66	137	12	10	9	4	3	2	3	2	16	4	
	7	655	196	106	71	186	12	6	6	5	4	2	5	3	14	3	
	8	616	185	91	61	195	7	6	3	6	5	3	2	4	3	11	3
	9	571	170	87	48	170	12	9	5	6	6	4	3	3	2	11	6
	10	634	191	100	47	162	25	14	6	12	8	4	4	6	3	14	5
	11	632	192	93	57	156	29	19	6	11	6	4	2	4	1	14	6
2018	12	644	210	79	61	143	32	20	11	13	4	4	2	2	1	13	9
	1	648	250	81	46	166	23	10	6	10	6	3	1	2	1	9	9
	2	645	215	98	51	188	22	12	4	7	6	3	2	2	1	8	5
	3	679	191	96	61	181	30	17	6	12	9	5	4	4	3	17	8
	4	735	201	106	50	202	32	19	10	16	13	5	3	8	2	18	9
5	694	203	99	57	194	23	13	6	15	7	4	3	6	2	18	7	

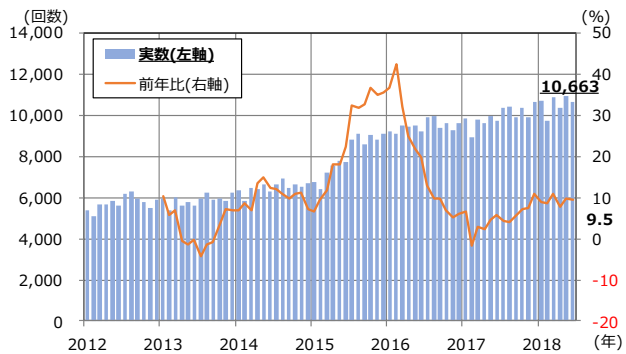
(出所) 法務省「出入国管理統計」

他地域を見ると、欧州全体では2万6,409人(前年同月比+13.4%)、うち英国が4,244人(同+10.5%)、フランスが6,366人(同+20.8%)、ドイツが3,019人(同+12.3%)であった。また、米国が1万7,974人(同+30.9%)、豪州が6,870人(同+33.9%)であった。

## (6) 関空国際線航空機発着回数

6月の国際線の発着回数(旅客便)は1万663回で単月過去最高を更新した前月(1万917回)ほどではないが、高水準を維持。伸びも前年同月比+9.5%と16カ月連続の増加。4カ月連続で1万回を超え、好調が続いている。

関空国際線航空機発着回数(旅客便, 2018年6月まで)



(出所) 関西エアポート株式会社「関西国際空港・大阪国際空港利用状況(速報値)」